

記録
ビデオ
カラー／17分

- 企画
(公社)日本臨床工学
技士会
- 撮影協力
医療法人鉄蕉会
亀田総合病院

スタッフ

- 製作
村山憲太郎
- 脚本・演出
栗原龍一
- 撮影
今野聖輝
- CG
アイズ
- 選曲
大江拓二
- ナレーター
岩田光央

現代医療にかかせない医療機器のスペシャリストである「臨床工学技士」。その多岐にわたる業務内容を紹介する。



現代の医療は、高度な医療機器がなければ成り立たない。その医療機器を熟知し、それらが安全に動くようにすることで医療を支えているのが“いのちのエンジニア”(CLINICAL ENGINEER)、臨床工学技士だ。

病院内で医師や看護師、各種の医療技術者とチームを組んで、心臓手術をはじめとする手術業務、不整脈治療や血液浄化など生命維持装置の操作などを担当。また医療機器がいつでも安心して使用できるよう、保守管理や点検などを行っている。

臨床工学技士の仕事が、患者さんの目に触れることは多くない。しかし、医療機器を熟知し、それらが安全に動くことで、患者さんの命を支えている。医学と工学の知識を兼ね備えた臨床工学技士の存在は、医療の進歩にともない、ますます大きくなっている。医療のあらゆる場所で臨床工学士が求められている。